

江戸時代の納税と伊浜

南伊豆を知ろう会
『伊浜のむかし その3』

平成30年9月1日
南伊豆町伊浜山村活性化支援センター

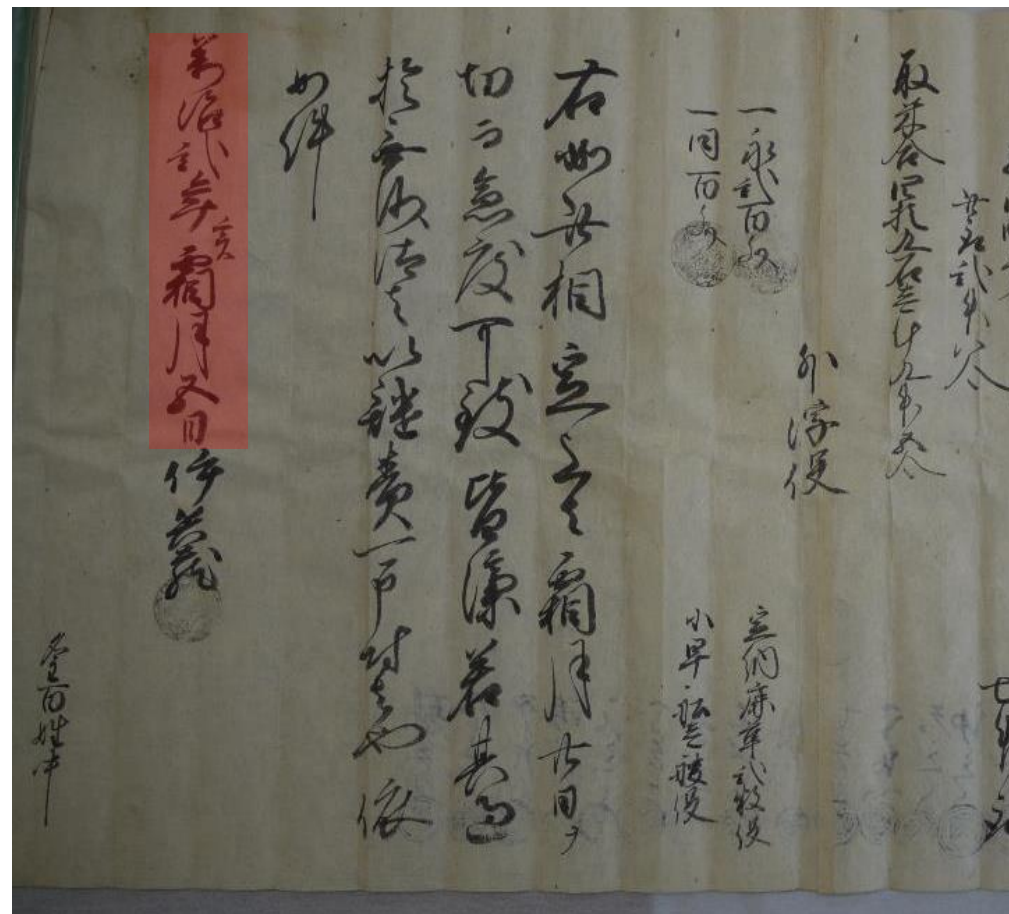
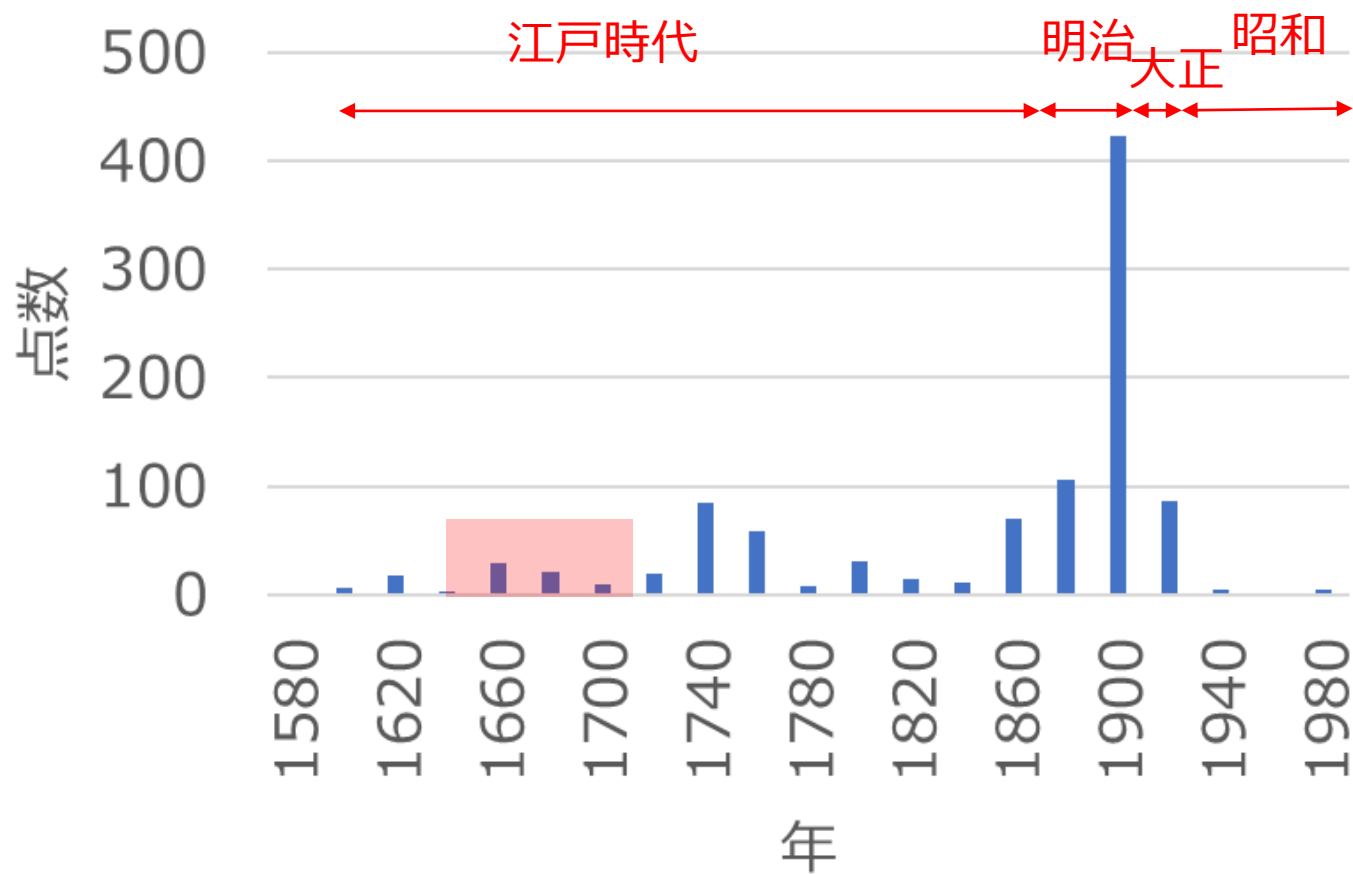
報告者
NPO歴史資料継承機構 宮園俊哉

報告者 自己紹介

- 1989年 理工学部修了後 自動車関連メーカー
- 30年間 研究に従事
- 古文書への関わり
 - 2012年 書籍 通信教育
 - 2015年 5月 NPO歴史継承機構 第1回 伊浜肥田家文書調査 参加

これまでの肥田家文書の調査

- 文書点数 2174点（昨年10月までの調査）
- 年代判別可能 1001点



江戸時代の納税

- 江戸時代：領主 幕府領・旗本領・藩領・寺社領 税の種類、税率異なる

税		納税方法
年貢	1年ごとの収穫高による（検見法）	米→後、換金
	過去の収穫高 一定（定免法）	
諸役	浮役、使役など	金銭

- 納税に関する領主からの書状：『年貢割付状』
- 伊浜村 幕府直轄の領地（近世前期まで） 三島代官所

肥田家 年貢割付状



表題
年貢可納割付の事

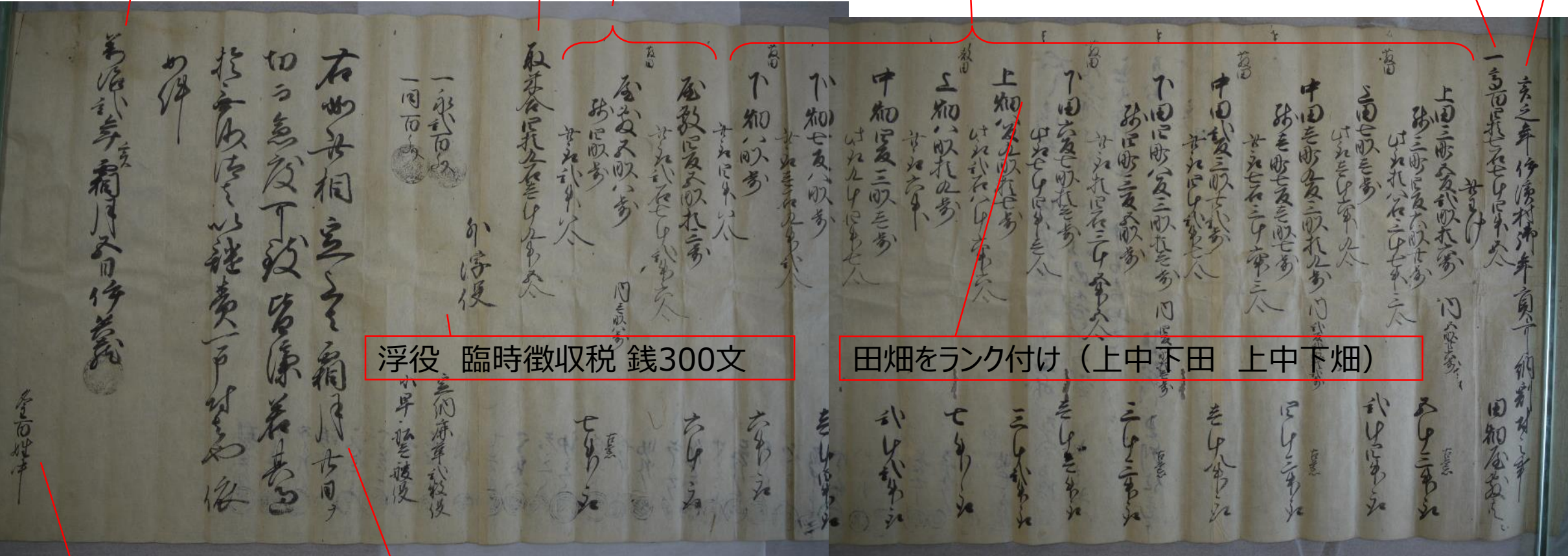
取米49石1斗9升5合 総石高の1/3

万治2年亥11月5日
差出人 伊兵蔵 (三島代官)

各家屋への取米 (課税)

各田畑への取米 (課税)

総石高147石7斗4升5合



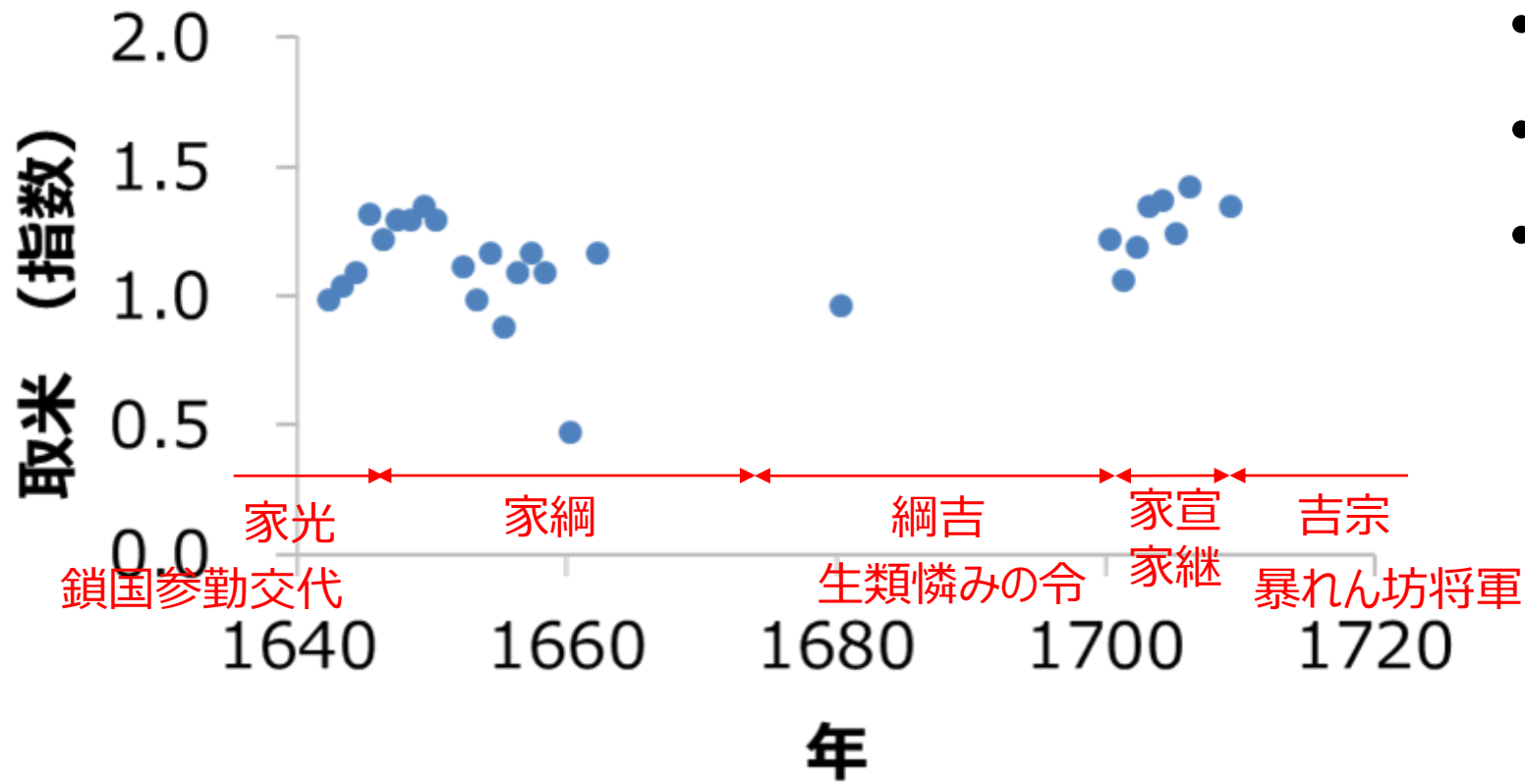
浮役 臨時徴収税 銭300文

田畑をランク付け (上中下田 上中下畑)

宛先 名主・百姓全員

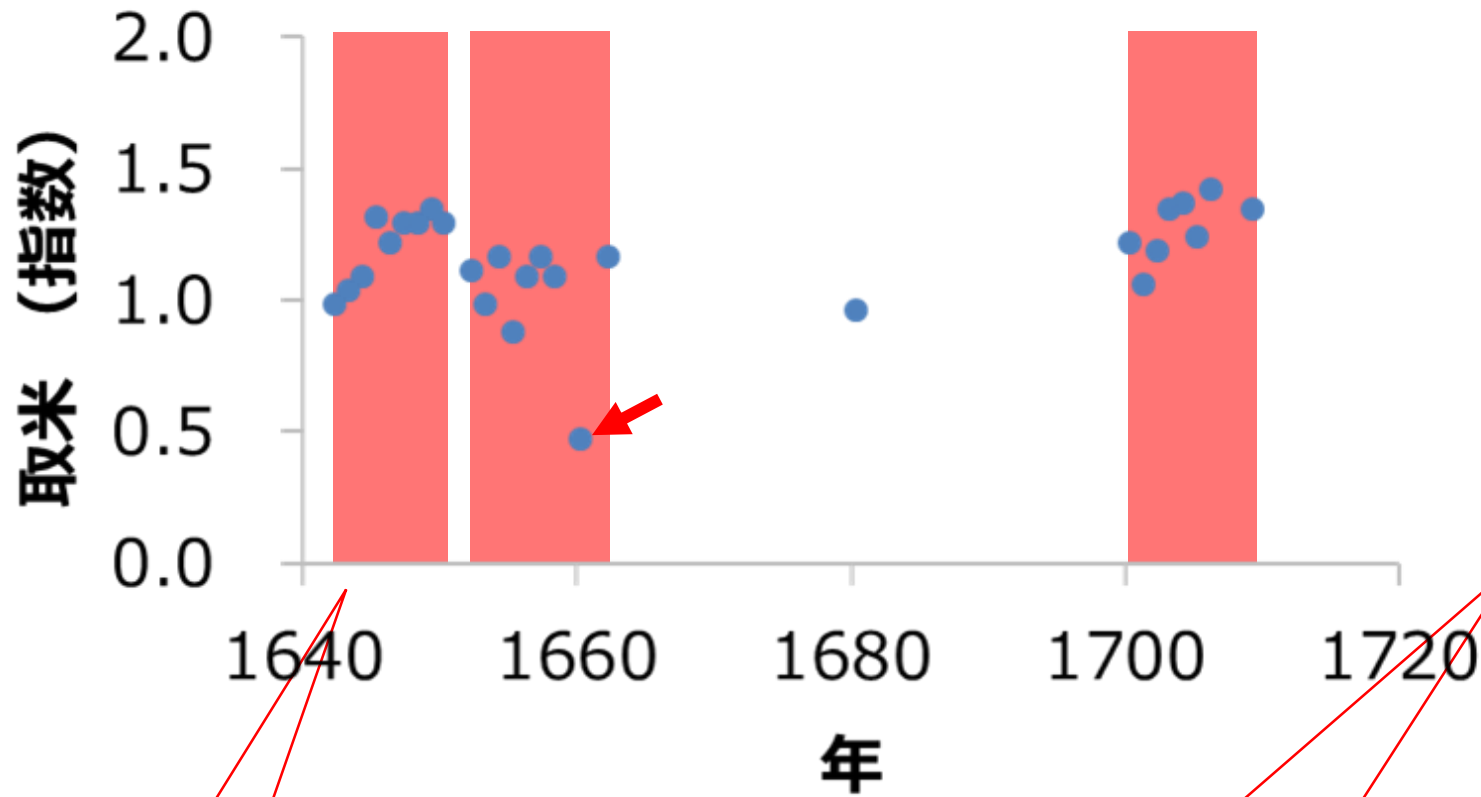
納期11月20日

肥田家 年貢割付状



- 計33点
- 検見法
- 収穫高 納める年貢：取米

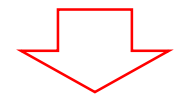
肥田家 年貢割付状



- 各年代での傾向

年代	傾向	ばらつき
1642-50	上昇	小
1652-62	低下し一定	大
1700-09	再び上昇	中

- 1660年 例年の半分以下



何があったのか？

理由を知るために

- 代官（領主）の依存
 - 同一代官 他の村との比較
 - 代官の交代、領主の変遷
- 米の発育、災害
 - 異なる代官 近隣村との比較
 - 17世紀の降水量・気温
 - 統計値は当然なし 日記 見つかっていない
 - 年貢割付状に税を減らしている理由が書いていることがある

今後、調査・検討を進めていく

以上